

臨床歩行分析研究会誌 投稿論文情報

論文番号	2020-04
原稿受付年月日	2021年1月13日
原稿形式	原著 短報 報告 総説 症例報告 投稿解説 ()
表題 (和文)	脊柱後弯姿勢が歩行動作停止直後の姿勢制御能力に及ぼす影響
表題 (英文)	Effect of Kyphotic Posture on Postural Control Ability Immediately After Stopping Walking
著 者	新保 千尋, 松田 友秋, 福田 秀文, 加藤 浩
要 旨	<p>〔目的〕 歩行停止動作における姿勢制御の違いに対し, 姿勢を変化させた際の影響をフラクタル時系列解析である SDA を用いて検討した.</p> <p>〔対象と方法〕 健常男性 18 例. 歩行停止動作を課題動作とし, COP 軌跡より SDA による解析を用い, 正中姿勢と後弯姿勢にて比較を実施した.</p> <p>〔結果〕 後弯姿勢は正中姿勢よりも動揺の程度を示す拡散係数が動作終了直後に大きくなり, その後の安静立位保持においても拡散係数が大きくなり動揺が持続していた.</p> <p>〔結語〕 後弯姿勢は歩行動作停止後における姿勢制御に影響を与えることが考えられた.</p>